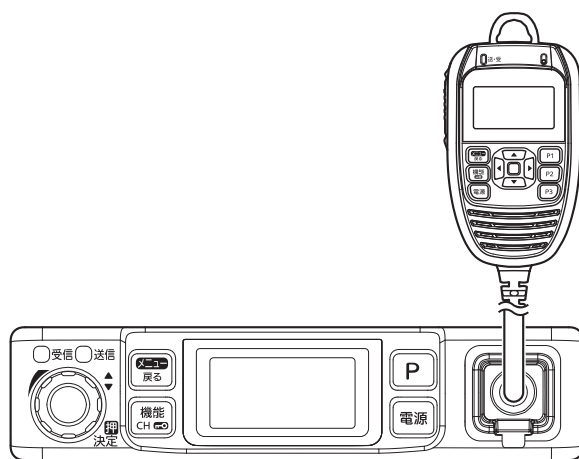


VHF/UHF無線電話装置
IC-DV6010S
シリーズ
IC-DU6010S
シリーズ

HM-224(防水コマンドマイク)編



HM-224(別売品)接続時のイラストです。

この無線機をご使用の際には、総務省の無線局の免許が必要です。
免許を受けずに使用すると、電波法第110条の規定により処罰されます。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書は、本製品にHM-224(別売品:防水コマンドマイク)を接続したとき、使用できる機能と操作について説明した取扱説明書です。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

取扱説明書の内容について

無線機本体に付属の防水スピーカーマイクロホン(HM-223)でお使いになる場合の操作については、IC-DV6010S/IC-DU6010Sシリーズ取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。

一般的なお使用を想定した内容にしていますので、ご使用になる機能や操作について詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※本書では、「防水コマンドマイク(HM-224)」を「コマンドマイク」と表記します。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、コマンドマイクは、アイコム株式会社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

本製品のフォントは、モリサワとイワタのフォントを採用しております。

もくじ

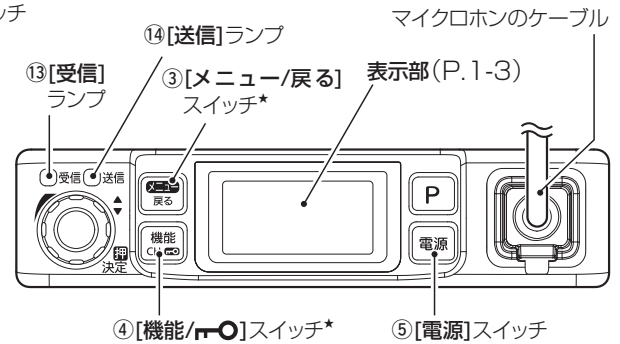
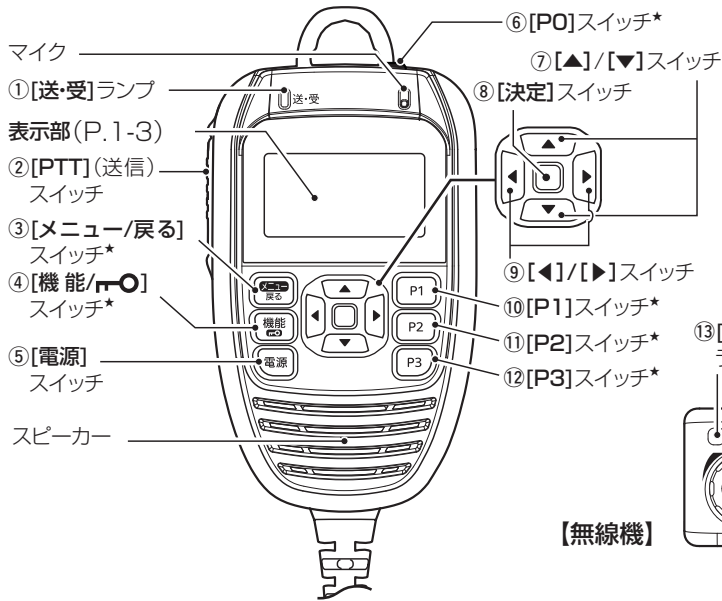
はじめに	i	7.そのほかの機能について	7-1
取扱説明書の内容について	i	■ モニター機能	7-1
登録商標/著作権について	i	■ キーロック機能	7-1
1.各部の名称と機能	1-1	■ 強制終話機能	7-1
■ 前面部	1-1	■ T102方式受信機能	7-1
■ 表示部(通話チャンネル表示)	1-3	■ スキャン機能	7-1
2.通話のしかた	2-1	■ 呼び出し音機能	7-1
■ 通話するときのアドバイス	2-4	■ 呼び出しメロディー機能	7-1
3.ユーザーコード(UC)によるグループ通話のしかた	3-1	■ 最小音量設定機能	7-1
■ ユーザーコードを変更するには	3-2	■ マイクハンガー機能	7-1
4.選択呼び出しによる通話	4-1	■ GPSデータ通信	7-2
■ 選択呼び出しの種類について	4-1	■ ステータス通信	7-2
■ 呼出種別を変更するには	4-3	■ ショートメッセージ通信	7-2
5.緊急機能について	5-1	■ ベアラモード通信	7-3
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)	5-1	■ ロングデータモード通信	7-3
6.メニュー画面について	6-1	8.設定モード	8-1
■ 項目一覧	6-1	■ 設定項目一覧	8-1
■ メニュー画面を表示するには	6-1	■ 設定モードに移行するには	8-1
■ 設定値を変更するには	6-1	■ 設定のしかた	8-2
■ 項目について	6-2	■ 設定項目について	8-2
		さくいん	1-1

1

各部の名称と機能

■ 前面部

【コマンドマイク】



★印のスイッチに割り当てられている機能や長押し時間は、お買い上げ時の設定によって異なります。

詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※お買い上げ時の設定によって、無線機本体のスイッチやツマミは動作しない場合があります。

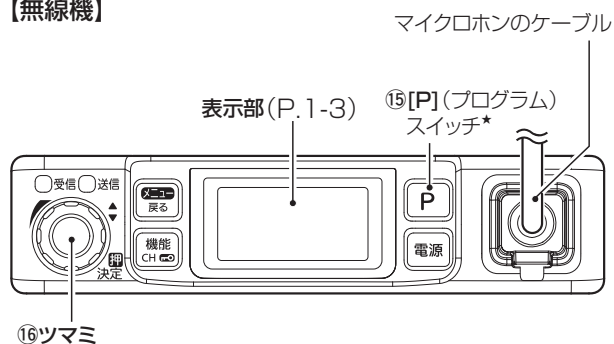
①	【送・受】ランプ ○電波を受信しているあいだは緑色に点灯します。 ○電波を送信しているあいだは赤色に点灯します。
②	【PTT】(送信)スイッチ 押ししているあいだは送信状態、はなすと待ち受け状態に切り替わります。
③	【メニュー/戻る】スイッチ★ 【通話チャンネル表示中】 ○長く(約1秒)押しすると、メニュー画面を表示します。 【メニュー画面、設定モード画面表示中】 ○短く押しすると、前の画面に戻ります。 ○メニュー画面表示中に長く(約1秒)押しすると、通話チャンネル表示に戻ります。
④	【機能/Ⓜ-O】スイッチ★ 【通話チャンネル表示中】 ○短く押しごとに、ツマミを回したときの動作を切り替えます。 ○長く(約1秒)押しごとに、キーロック機能を「ON」/「OFF」できます。 【メニュー画面、設定モード画面表示中】 ○押しすると、選択した項目や設定値を確定します。
⑤	【電源】スイッチ 電源を「入」/「切」します。
⑥	【PO】スイッチ★

⑦	【▲】/【▼】スイッチ 【通話チャンネル表示中】 ○押しすると、通話チャンネルが変わります。 【メニュー画面、設定モード画面表示中】 ○押しすると、項目や設定値を選択します。
⑧	【決定】スイッチ 押しすると、選択した項目や設定値を確定します。
⑨	【◀】/【▶】スイッチ 【通話チャンネル表示中】 ○押しすると、音量が変わります。 【メニュー画面、設定モード画面表示中】 ○【▶】スイッチを押しすると、選択した項目や設定値を確定します。 ○【◀】スイッチを短く押しすると、前の画面に戻ります。 ○メニュー画面表示中に【◀】スイッチを長く(約1秒)押しすると、通話チャンネル表示に戻ります。
⑩	【P1】スイッチ★ ○着信中、または終話判定中に長く(約1秒)押しすると、通話を強制的に終了します。
⑪	【P2】スイッチ★
⑫	【P3】スイッチ★
⑬	【受信】ランプ 電波を受信しているあいだは緑色に点灯します。
⑭	【送信】ランプ 電波を送信しているあいだは赤色に点灯します。

1 各部の名称と機能

■ 前面部(つづき)

【無線機】



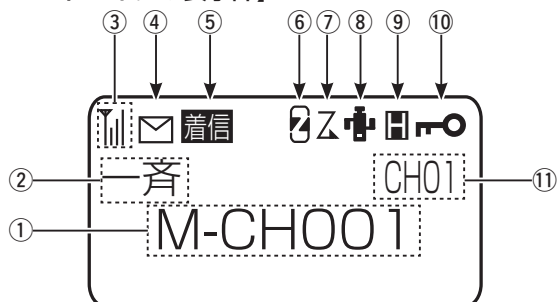
★印のスイッチに割り当てられている機能や長押し時間は、お買い上げ時の設定によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
※お買い上げ時の設定によって、無線機本体のスイッチやツマミは動作しない場合があります。

⑮	[P] (プログラム) スイッチ★ ○ 着信中、または終話判定中に長く (約1秒) 押しすと、通話を強制的に終了します。
⑯	ツマミ 【通話チャンネル表示中】 ○ ツマミを回すと、音量、または通話チャンネルが切り替わります。 【メニュー画面、設定モード画面表示中】 ○ ツマミを回すと、項目や設定値を選択します。 ○ 押しすと、選択した項目や設定値を確定します。

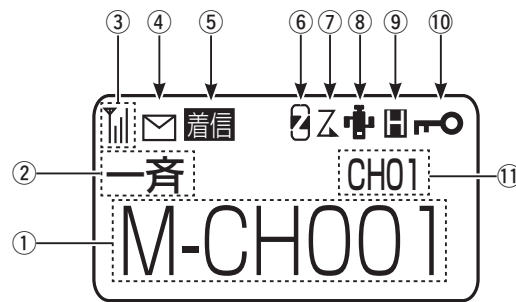
1 各部の名称と機能

■ 表示部(通話チャンネル表示)

【コマンドマイクの表示部】

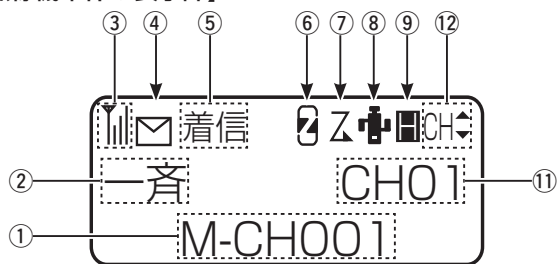


(文字サイズ:標準)

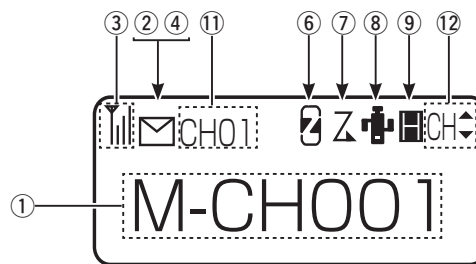


(文字サイズ:大)

【無線機本体の表示部】



(文字サイズ:標準)



(文字サイズ:大)

※文字サイズは設定モード(P.8-3)から変更できます。

①通話チャンネル表示

通話チャンネル番号が表示されます。

※お買い上げの販売店で通話チャンネルに名称が設定されているときは、通話チャンネル番号表示の代わりに設定された名称が表示されます。

②呼出種別表示

選択呼び出し機能で運用中、[一斉]/[グループ]/[個別]の各呼出種別が表示されます。

アナログ通信で使用する通話チャンネルを選択した場合は[アナログ]が表示されます。

※無線機本体の表示部では、文字サイズを「大」に設定したときは、未読メッセージ(④)と同じ場所に、[一斉]/[グ] (グループ)/[個] (個別)/[A] (アナログ)が表示されます。

※無線機本体の表示部では、文字サイズを「大」に設定したときに未読メッセージがある場合、呼出種別は表示されません。

③電界強度表示

受信している電波の強さ(目安)が、右記の3段階で表示されます。

「J」は、常時点灯されます。



④☐(未読メッセージ)

未読メッセージがあるときに表示されます。

⑤呼び出し状態表示

[送信]/[着信]/[通話]の各呼び出し状態が表示されます。

⑥🔒(秘話機能)

秘話機能が設定されているときに表示されます。

⑦Z(スキャン機能)

スキャン機能(P.7-1)の動作中、またはポーズ中に表示されます。

⑧📶/📶(GPS状態表示)

GPSの状態が表示されます。

📶:GPSユニット(別売品:UX-249)を接続してGPS衛星からの信号を受信(測位)していない状態

📶:GPSユニットを接続してGPS衛星からの信号を受信(測位)した状態

※GPS衛星からの信号を受信(測位)していない場合、ステータス着歴(P.6-3)、ショートメッセージ着歴(P.6-4)、音声着歴(P.6-4)の受信時刻には、「--:--」が表示されます。

⑨H/L/R

各通話チャンネルの送信出力設定が表示されます。

H:High

L:Low

R:受信専用

⑩🔒(キーロック機能)

キーロック機能が動作しているときに表示されます。(P.7-1)

⑪周波数チャンネル表示

周波数チャンネル番号が表示されます。

⑫CH⇅(チャンネル操作モード)

無線機本体のツマミの機能が、チャンネル操作モードのときに表示されます。

2

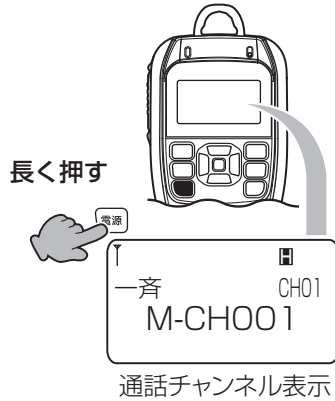
通話のしかた

相手と同じ通話チャンネルに合わせるだけの基本的な通話のしかたについて説明します。

1 電源を入れる

【電源】スイッチを長く(約1秒)押します。

※電源を切るときは、【電源】スイッチを長く(約3秒)押しします。



【起動コメントについて】

起動コメントが設定されているときは、電源投入直後に「IC-DV6010S1」などの起動コメントが表示されます。



ご参考

起動コメントの設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

【自局番号表示について】

自局番号表示機能が設定されているときは、「IC-DV6010S1」などの起動コメントが表示されたあと、自局の個別番号が表示されます。

【パスワード?と表示されたときは】

起動パスワード機能が設定されていると、電源を入れたときに「パスワード?」を表示します。

この場合、本製品を操作するには、あらかじめ設定されたパスワードの入力が必要です。

あらかじめ設定された順番どおりにコマンドマイク、または無線機本体のスイッチを押すと、パスワードが解除されます。パスワードを間違えると、「ブツ」とビープ音が鳴ります。パスワード入力ミスにより再入力できる回数は、あらかじめ決定されています。

再入力可能回数を超えると、「端末ロック」が表示され、電源を切る以外の操作はできなくなります。

※パスワード入力は、パスワードに設定された機器のスイッチを使用してください。

たとえば、パスワードに無線機本体のスイッチが設定されているときは、無線機本体のスイッチで入力する必要があります。

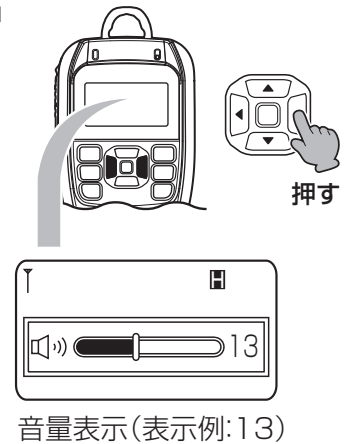
コマンドマイクのスイッチで入力しても、正しいパスワードが入力できません。

※「端末ロック」の表示を解除するには、お買い上げの販売店にご依頼ください。

2 音量を調整する

【◀/▶】スイッチを押します。

(調整範囲:0~32)



【音量を確認するには】

アナログ通信で使用する通話チャンネルを選択し、モニター機能を設定したスイッチを押します。

・【送・受】ランプが緑色に点灯し、「ザーツ」という音が出ますので、この音を聞いて調整できます。

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※デジタル通信で使用する通話チャンネルを選択し、モニター機能を設定したスイッチを押しても、音量は確認できません。

受信中に、相手の音声聞きやすい音量に調整してください。

ご参考

音量の最小値を制限できます。(例:10)

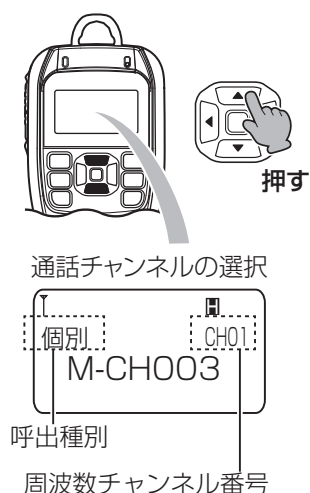
音量の最小値を制限することで、不用意にコマンドマイクの【◀】スイッチや無線機のツマミを操作したとき、受信音やビープ音が出なくなるのを防止できます。最小値を制限する場合は、お買い上げの販売店で設定が必要です。

2 通話のしかた

3 通話チャンネルを合わせる

[▲]/[▼]スイッチを押して、相手と同じ通話チャンネル(例:M-CH003)に合わせます。

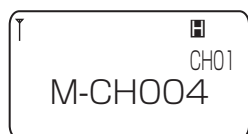
※通話チャンネルごとに、呼出種別と周波数チャンネルがあらかじめ設定されています。



◎ユーザーコードによる呼び出し

通話チャンネル番号と、周波数チャンネル番号が表示されます。

詳しくは、3-1ページをご覧ください。



◎選択呼び出し

呼出種別、通話チャンネル番号、周波数チャンネル番号が表示されます。

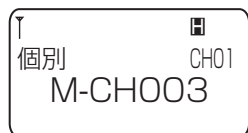
詳しくは、4-1ページをご覧ください。



一斉呼び出し



グループ呼び出し



個別呼び出し

◎アナログ通信

「アナログ」、通話チャンネル番号、周波数チャンネル番号が表示されます。



4 呼び出しをする

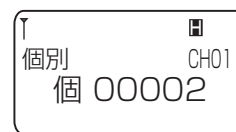
[PTT] (送信) スイッチを押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT] (送信) スイッチを押しているあいだ、[送・受]ランプが赤色に点灯します。



【デジタル通信で繰り返し呼び出しをするときは】

相手局から応答がない場合、再度 [PTT] (送信) スイッチを押すと、繰り返し呼び出しできます。



呼び出し後、応答を待っている状態

【相手局が通信圏内かどうかを確認するには】

通信する双方の無線機にアンサーバック機能が設定されている場合、個別呼び出しの相手局番号を選択した状態で、[PTT] (送信) スイッチを短く押すと、相手局が通信圏内かどうか確認できます。

- 相手局が通信圏内にいる場合は、[送・受]ランプが赤色に1回点滅したあと、「ピッ」と鳴り、[送・受]ランプが緑色に1回点滅します。

通信圏外など、相手に電波が届かない場合は、終話して、操作前の表示に戻ります。

※アンサーバック機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※アンサーバック機能は、通信方式が「T102」に設定されている無線機、およびアナログ通信で使用する通話チャンネルでは使用できません。

2 通話のしかた

5 呼び出しを受ける

呼び出しを受けたときは、着信表示状態で[PTT] (送信) スイッチを押しながら、マイクに向かって応答します。

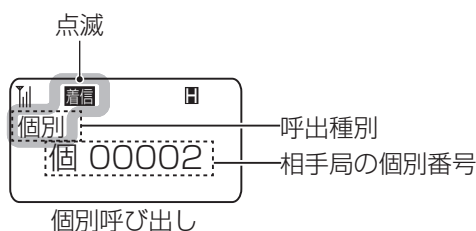
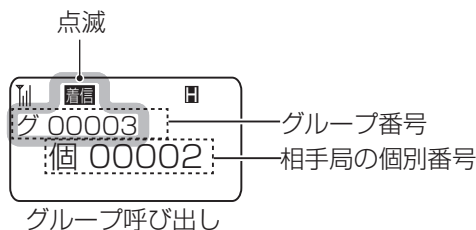
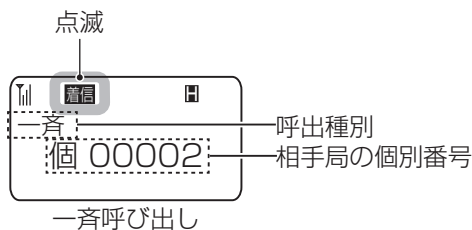
•呼び出しを受けたときは、[送・受]ランプが緑色に点滅します。

◎ユーザーコードによる呼び出しを受けたときの着信表示
相手局のユーザーコードが表示されて、「着信」が点滅します。



◎選択呼び出しを受けたときの着信表示

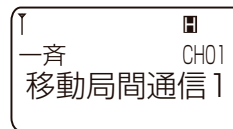
呼出種別、またはグループ番号と、相手局の個別番号が表示されて、「着信」が点滅します。



◎アナログ通信方式で呼び出しを受けたとき

呼び出しを受けても、表示される画面は変わりません。

ご参考:番号表示の代わりに名称を表示させるには
通話チャンネル番号、自局番号、相手局のユーザーコード、個別番号、グループ番号の代わりに、右図のような名称表示をご使用になる場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



漢字表示例

2 通話のしかた

■ 通話するときのアドバイス

マイクの使いかた

マイクに向かって話すときは、マイクと口元を約5cmはなし、普通に会話する大きさの声で通話してください。マイクを口元に近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、めいりょう度が悪くなることがありますのでご注意ください。

通話する場所について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなる場合があります。

そのときは、場所を少し移動して通話してください。

また、テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれてご使用ください。

電波干渉について

比較的せまいエリアで、多くの局が通話するような状態では、電波の干渉(相互変調)による混信が発生することがあります。

このような混信は、グループごとに[通話チャンネル]の組み合わせを適切に設定することで防止できます。

着信中の送信制限機能について

送信しようとする通話チャンネルで、先に通話している局が存在した場合、[PTT](送信)スイッチを押しても、「ブーブー」と鳴って、送信を禁止します。

送信できない場合は、他局の通話が終わってから送信しなおしてください。

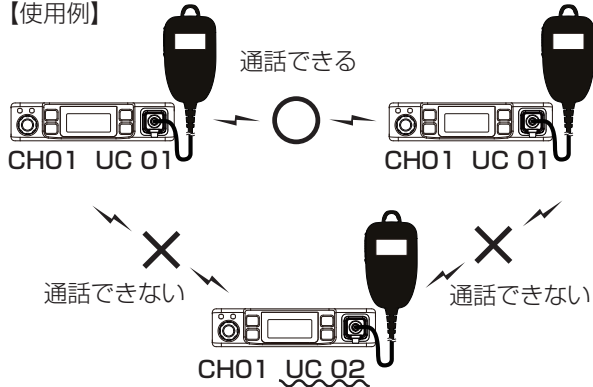
※設定が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

3

ユーザーコード(UC)によるグループ通話のしかた

複数の通話相手と同じユーザーコード(UC)を設定すると、通話グループが構成できます。
周波数チャンネルとユーザーコードが一致したすべての相手と通話できます。

【使用例】



- ※説明のため、送信ユーザーコードと受信ユーザーコードを同じ設定にしたときの例を使用しています。
送信側の送信ユーザーコードと受信側の受信ユーザーコードが異なる場合、通話できません。
送信と受信で異なるユーザーコードを設定することで、多様な通話グループを構成することができます。
- ※秘話機能や選択呼び出し機能とも併用できます。
- ※アナログ通信で使用する通話チャンネルを選択しているときは、ユーザーコードによる呼び出しはできません。
- ※通信方式が「T102」の無線機は、「B54」の無線機と通信できません。
- ※通信方式が「B54」の無線機は、T102方式受信機能が設定されているときは、「T102」の無線機から受信できます。

【周波数チャンネルの設定について】

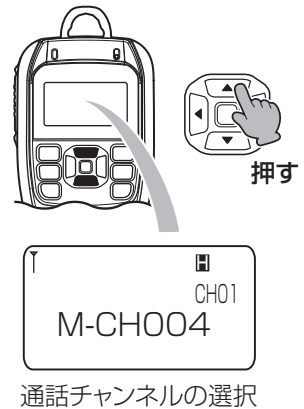
- ◎使用する周波数チャンネルは、あらかじめお買い上げの販売店で設定されています。
- ◎周波数チャンネルの変更は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

【ユーザーコードの設定について】

- ◎使用するユーザーコードは、あらかじめお買い上げの販売店で設定されています。
選択した通話チャンネルに設定されたユーザーコードが通話相手と同じユーザーコードであることを確認してください。
- ◎一時的にユーザーコードを変更する場合の操作については、「■ ユーザーコードを変更するには」(P.3-2)をご覧ください。
通話チャンネルを変更するか、電源を切ると、変更前のユーザーコードに戻ります。

1 通話チャンネルを合わせる

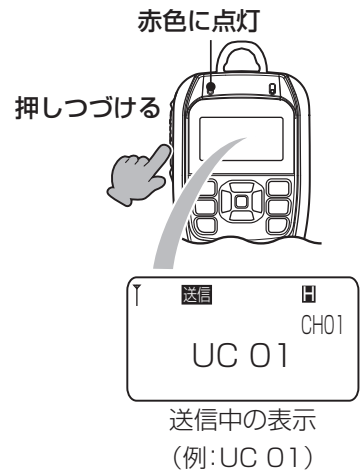
[▲]/[▼]スイッチを押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。



2 呼び出しをする

[PTT] (送信) スイッチを押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

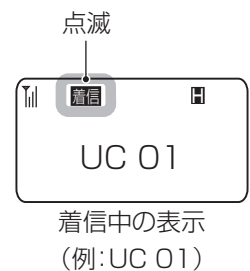
- [PTT] (送信) スイッチを押しているあいだ、[送・受]ランプが赤色に点灯します。



3 呼び出しを受ける

呼び出しを受けたときは、着信表示状態で[PTT] (送信) スイッチを押しながら、マイクに向かって応答します。

- 呼び出しを受けたときは、[送・受]ランプが緑色に点灯します。



3 ユーザーコード (UC) によるグループ通話のしかた

■ ユーザーコードを変更するには

ユーザーコードを変更する手順を説明します。

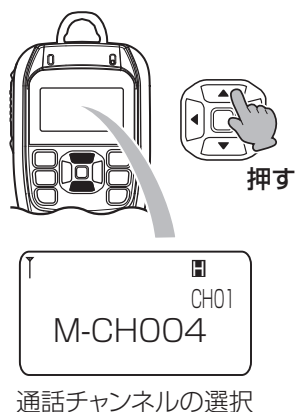
※使用できるユーザーコードの設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※通話チャンネルを変更するか、電源を切ると、変更前のユーザーコードに戻ります。

1 通話チャンネルを合わせる

[▲]/[▼]スイッチを押して、相手と同じ通話チャンネル(例:M-CH004)に合わせます。

※選択した通話チャンネルに設定されている周波数チャンネルとユーザーコードが異なる相手とは、通話できません。(P.3-1)



2 メニュー画面を表示する

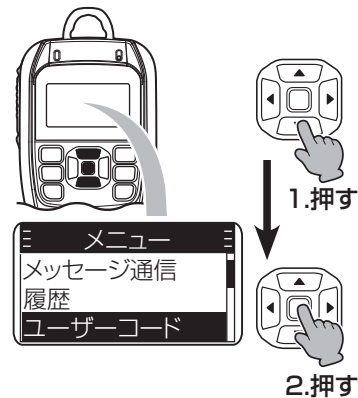
[メニュー/戻る]スイッチを長く(約1秒)押します。

- メニュー画面が表示されます。



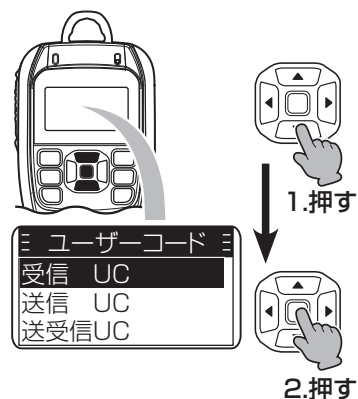
3 ユーザーコード画面を表示する

1. [▲]/[▼]スイッチを押して、ユーザーコードを選択します。
2. [決定]スイッチを押します。
 - ユーザーコード画面が表示されます。



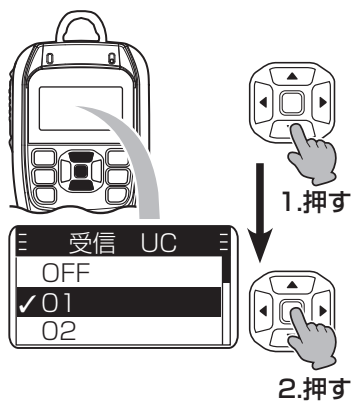
4 設定するユーザーコードを選択する

1. [▲]/[▼]スイッチを押して、設定するユーザーコードを選択します。
2. [決定]スイッチを押します。



5 ユーザーコードを設定する

1. [▲]/[▼]スイッチを押して、ユーザーコードを選択します。
2. [決定]スイッチを押します。
 - 通話チャンネル表示に戻ります。





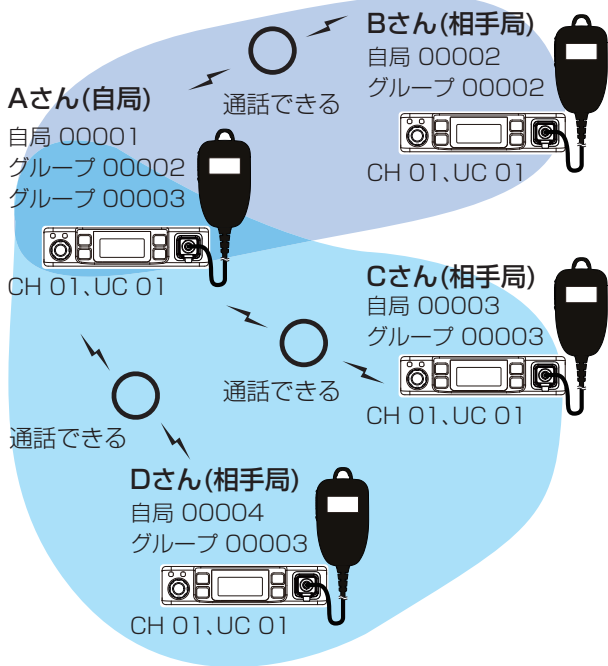
4 選択呼び出しによる通話

■ 選択呼び出しの種類について

選択呼び出しの種類について、下図を例に説明します。

【使用例】

下図の   は、Aさん(自局)が呼び出しできるグループを意味します。



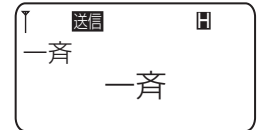
- ※説明のため、送信ユーザーコードと受信ユーザーコードを同じ設定にしたときの例を使用しています。
ユーザーコードについては、「3 ユーザーコード(UC)によるグループ通話のしかた」をご覧ください。
- ※選択呼び出しを使用するには、お買い上げの販売店での設定が必要です。
- ※グループ呼び出しで着信させるには、あらかじめ、お買い上げの販売店で、着信グループの設定が必要です。
相手側の着信グループに含まれていないグループ番号に呼び出しをしても、着信しません。
- ※アナログ通信で使用する通話チャンネルを選択しているときは、選択呼び出しはできません。
- ※通信方式が「T102」に設定されている無線機は、選択呼び出しはできません。

選択呼び出しには、次の3種類の方法があります。

◎ 一斉呼び出し



通話チャンネル表示



送信中の表示

周波数チャンネル(使用例:CH 01)とユーザーコード(使用例:UC 01)が同じ、すべてのグループの相手局(使用例:Bさん/Cさん/Dさん)を一斉に呼び出します。

◎ グループ呼び出し



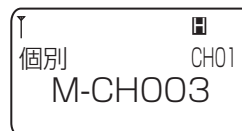
通話チャンネル表示



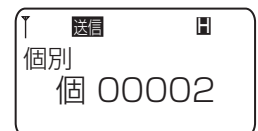
送信中の表示

周波数チャンネル(使用例:CH 01)とユーザーコード(使用例:UC 01)が同じで、着信グループに設定されたグループ番号(使用例:グループ 00003)に所属するすべての相手局(使用例:Cさん/Dさん)を呼び出します。

◎ 個別呼び出し



通話チャンネル表示



送信中の表示

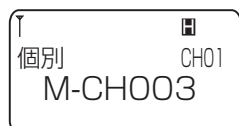
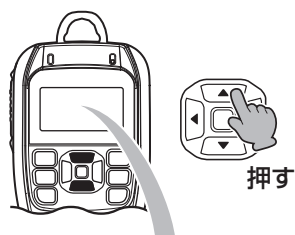
周波数チャンネル(使用例:CH 01)とユーザーコード(使用例:UC 01)が同じで、呼び出す相手局(使用例:Bさん)の自局番号(使用例:00002)を指定して呼び出します。

4 選択呼び出しによる通話

1 通話チャンネルを合わせる

[▲]/[▼]スイッチを押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

※選択した通話チャンネルに設定されている周波数チャンネルとユーザーコードが異なる相手とは、通話できません。(P.3-1)

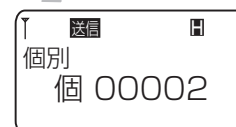


通話チャンネルの選択

2 呼び出しをする

[PTT] (送信) スイッチを押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT] (送信) スイッチを押しているあいだ、[送・受] ランプが赤色に点灯します。

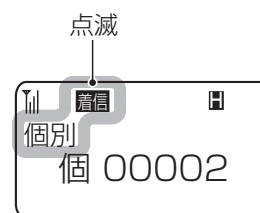


送信中の表示
(例: 個別呼び出し)

3 呼び出しを受ける

呼び出しを受けたときは、着信表示状態で [PTT] (送信) スイッチを押しながら、マイクに向かって応答します。

- 呼び出しを受けたときは、[送・受] ランプが緑色に点灯します。



着信中の表示
(例: 個別呼び出し)

4 選択呼び出しによる通話

■ 呼出種別を変更するには

呼出種別を変更する手順を説明します。

※通話チャンネルを変更するか、電源を切ると、変更前の呼出種別に戻ります。

1 通話チャンネルを合わせる

[▲]/[▼]スイッチを押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

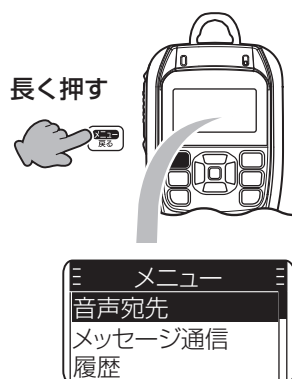
※選択した通話チャンネルに設定されている周波数チャンネルとユーザーコードが異なる相手とは、通話できません。(P.3-1)



2 メニュー画面を表示する

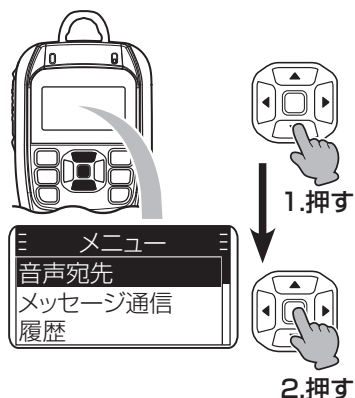
[メニュー/戻る]スイッチを長く(約1秒)押します。

•メニュー画面が表示されます。

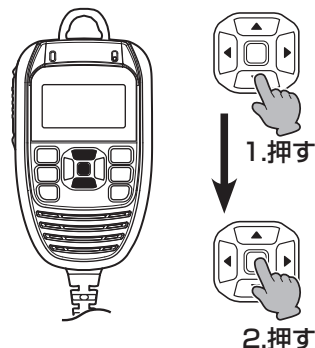


3 音声宛先を選択する

1. [▲]/[▼]スイッチを押して、「音声宛先」を選択します。
2. [決定]スイッチを押します。



4 呼出種別を選択する



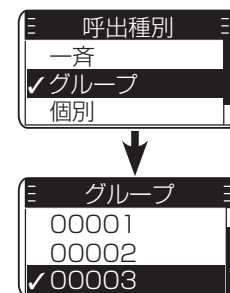
▶一斉に呼び出すときは

1. [▲]/[▼]スイッチを押して、「一斉」を選択します。
2. [決定]スイッチを押します。
•通話チャンネル表示に戻ります。



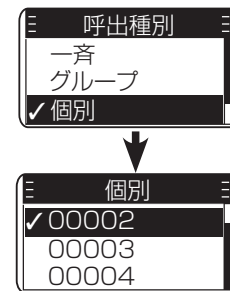
▶グループを呼び出すときは

1. [▲]/[▼]スイッチを押して、「グループ」を選択します。
2. [決定]スイッチを押します。
3. [▲]/[▼]スイッチを押して、グループ番号を選択します。
4. [決定]スイッチを押します。
•通話チャンネル表示に戻ります。



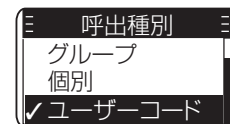
▶1局を呼び出すときは

1. [▲]/[▼]スイッチを押して、「個別」を選択します。
2. [決定]スイッチを押します。
3. [▲]/[▼]スイッチを押して、個別番号を選択します。
4. [決定]スイッチを押します。
•通話チャンネル表示に戻ります。



▶選択呼び出しを使用しないときは

1. [▲]/[▼]スイッチを押して、「ユーザーコード」を選択します。
2. [決定]スイッチを押します。
•通話チャンネル表示に戻ります。



■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

迅速な連絡が必要な場合、指定した通話チャンネルに設定されている局に、緊急信号を送出して相手に「緊急」表示と警告音で通知します。

※設定が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※通信方式が「T102」に設定されている無線機は、緊急呼び出し機能を使用できません。

※アナログ通信で使用する通話チャンネルでは、緊急呼び出し機能を使用できません。

△警告

緊急呼び出し機能(エマージェンシー)は、大きな音量の警告音が連続で鳴ります。

本製品に外部スピーカー、またはスピーカー内蔵の外部電源を取り付けて、緊急呼び出し機能を使用する場合は、警告音の音量とコマンドマイクの[◀]/[▶]スイッチや無線機のツマミが連動するように設定されることをおすすめします。

設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※スキャン機能(P.7-1)の動作中は、緊急呼び出しを正しく受信できないことがあります。

【緊急呼び出し機能を正しく使用するには】

コマンドマイク、または無線機本体のスイッチに、緊急呼び出し機能を設定してください。

設定されていないときは、緊急呼び出しができません。

※緊急呼び出しによる送信ができないように設定された通話チャンネルでは、緊急機能を設定したスイッチを押しつづけても送信できません。

※あらかじめ設定した通話チャンネルにだけ、緊急呼び出しをします。

※緊急呼び出しやその呼び出しを受けているあいだは、コマンドマイクの[P1]スイッチ、無線機本体の[P](プログラム)スイッチの操作による強制終話(P.7-1)ができません。

下記のような場合、通知できなかつたり、通知できても警告音が鳴らなかつたりすることがあります。

◎警告音が音量調整と連動して変化するように設定されている場合

◎警告音を鳴らさない設定がされている場合

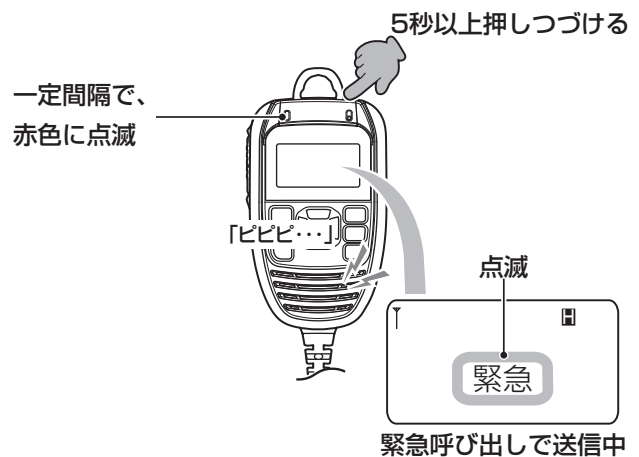
◎電波状況の悪化により電波が届かない場合

◎通話チャンネル表示以外の画面で、緊急呼び出し機能が設定されたスイッチを長く(5秒以上)押した場合

【緊急呼び出しのしかた】

1. 相手と同じ通話チャンネルに合わせます。
2. 「緊急」と表示されるまで、緊急機能が設定されたスイッチを長く(5秒以上)押します。
 - 警告音が「ピピピ…」と鳴って、一定の間隔ごとに[送・受]ランプが赤色に点滅します。

【例：[PO]スイッチに緊急機能を設定したとき】



3. 「緊急」表示が点滅した状態で、相手局から応答があるのを待ちます。
 - 応答があると、「緊急」表示の点滅が停止して、[送・受]ランプが緑色に点灯します。
4. 通話をつづけます。
 - 終話すると、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。
 - ※終話後、緊急呼び出し機能の動作を再開することもできます。
 - 設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※緊急呼び出し中に表示される画面を、緊急呼び出しとわかる表示に切り替えずに、呼び出しすることもできます。

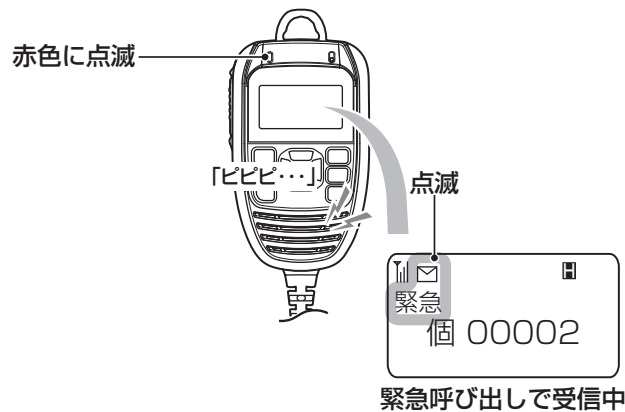
設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

5 緊急機能について

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)(つづき)

【緊急呼び出しを受けたときは】

1. **[送・受]**ランプが緑色に1回点滅したあと、警告音が「ピピピ…」と鳴って、**[送・受]**ランプが赤色に点滅します。
また、「緊急」表示が点滅し、「緊急相手局番号」を表示します。
 - ステータスを受信したときは、**[決定]**スイッチを押すと、内容が表示されます。



2. **[PTT]**(送信)スイッチを押して、応答します。
 - 警告音が停止します。
3. 通話をつづけます。
 - 終話すると、緊急呼び出しを受ける前の状態に戻ります。

表示される項目は、お買い上げ時の設定によって異なります。

詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 項目一覧

下記の項目が表示されます。

項目名	参照
音声宛先 ^{★1★3}	P.6-2
メッセージ通信 ^{★1★3}	P.6-2
ステータス通信 ^{★1★3}	P.6-2
ショートメッセージ通信 ^{★1★3}	P.6-3
履歴 ^{★3}	P.6-3
ステータス着歴 ^{★3}	P.6-3
ショートメッセージ着歴 ^{★3}	P.6-4
音声着歴 ^{★3}	P.6-4
ユーザーコード ^{★1}	P.6-5
受信 UC ^{★1}	P.6-5
送信 UC ^{★1}	P.6-5
送受信UC ^{★1}	P.6-5
秘話 ^{★1★3}	P.6-5
送信出力	P.6-5
スキャン ^{★1}	P.6-6
マイクゲイン	P.6-6
表示設定	P.6-6
マイクLCD輝度	P.6-6
本体LCD輝度	P.6-6
ノイズスケルチ ^{★2}	P.6-6

★1 デジタル通信で使用する通話チャンネルを選択しているときだけ、表示されます。

★2 アナログ通信で使用する通話チャンネルを選択しているときだけ、表示されます。

★3 通信方式が「B54」に設定されている無線機だけ、表示されます。

■ メニュー画面を表示するには 【操作のしかた】

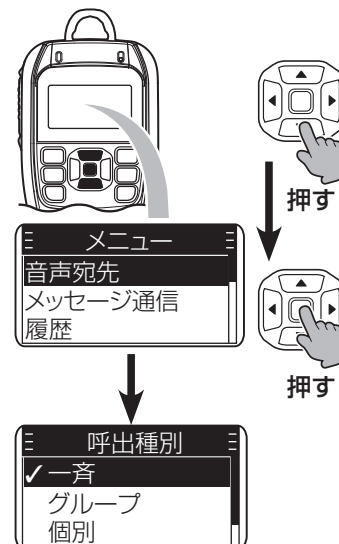
【メニュー/戻る】スイッチを長く(約1秒)押します。

- メニュー画面が表示されます。



■ 設定値を変更するには 【操作のしかた】

1. [▲]/[▼]スイッチを押して設定したい項目を選択します。
2. [決定]スイッチを押します。
3. 手順1と手順2を繰り返して、設定したい項目を選択します。
4. [▲]/[▼]スイッチを押して、設定値を選択します。
5. [決定]スイッチを押します。



※【メニュー/戻る】スイッチを短く押すと、1つ前の画面に戻ります。

【メニュー/戻る】スイッチを長く(約1秒)押すと、通話チャンネル表示に戻ります。

■ 項目について

音声宛先

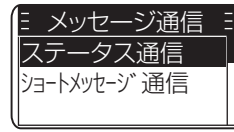


選択した通話チャンネルの音声通信の宛先(呼出種別)を一時的に変更します。

- 一斉 : 周波数チャンネルとユーザーコードが同じ、すべてのグループを一斉に呼び出す
- グループ : 周波数チャンネルとユーザーコードとグループ番号が同じ相手局を、指定して呼び出す
- 個別 : 周波数チャンネルとユーザーコードが同じ相手局の、自局番号を指定して呼び出す
- ユーザーコード : 選択呼び出し(4章)を使用せず、周波数チャンネルとユーザーコードが同じ相手呼び出す

※ 通話チャンネルを変更するか、電源を切ると、変更前の設定に戻ります。

メッセージ通信



あらかじめ設定されたメッセージを送信できます。ステータス通信とショートメッセージ通信(P.6-3)があります。

◇ステータス通信

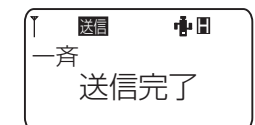
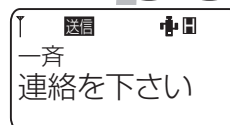
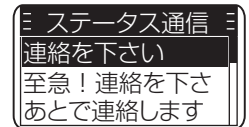
ステータスを送信します。ステータスには、全角12文字(半角24文字)以内の内容があらかじめ登録されています。

※ステータスの登録は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※選択した通話チャンネルに設定されている周波数チャンネルとユーザーコードが異なる相手へ、ステータスを送信できません。(P.3-1)

【ステータスを送信するには】

1. ステータス通信画面で、[▲]/[▼]スイッチを押して送信するステータスを選択し、[決定]スイッチを押します。
2. 選択したステータスの内容が表示されるので、[決定]スイッチを押します。
※[▲]/[▼]スイッチを押すと、表示をスクロールできます。
3. [▲]/[▼]スイッチを押して、呼出種別を選択し、[決定]スイッチを押します。
4. 手順3で「個別」、または「グループ」を選択した場合は、[▲]/[▼]スイッチを押して個別番号、またはグループ番号を選択し、[決定]スイッチを押します。
•手順2で選択したステータスが送信されます。



※受信したステータスの確認のしかたは、「履歴」項目の「◇ステータス着歴」(P.6-3)をご覧ください。

6 メニュー画面について

■ 項目について

メッセージ通信(つづき)

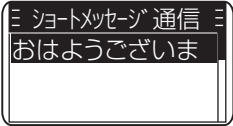
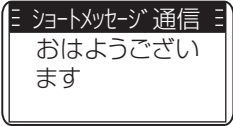


◇ショートメッセージ通信

あらかじめ登録された全角50文字(半角100文字)以内のショートメッセージを送信します。

※ショートメッセージの登録は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※選択した通話チャンネルに設定されている周波数チャンネルとユーザーコードが異なる相手へ、ショートメッセージを送信できません。(P.3-1)

【ショートメッセージを送信するには】

1. ショートメッセージ通信画面で、**[▲]/[▼]**スイッチを押して送信するショートメッセージを選択し、**[決定]**スイッチを押します。
2. 選択したショートメッセージの内容が表示されるので、**[決定]**スイッチを押します。
※**[▲]/[▼]**スイッチを押すと、表示をスクロールできます。
3. **[▲]/[▼]**スイッチを押して呼出種別を選択し、**[決定]**スイッチを押します。
4. 手順3で「個別」、または「グループ」を選択した場合は、**[▲]/[▼]**スイッチを押して個別番号、またはグループ番号を選択し、**[決定]**スイッチを押します。
•手順2で選択したショートメッセージが送信されます。



赤色に点灯



※受信したショートメッセージの確認のしかたは、「履歴」項目の「◇ ショートメッセージ着歴」(P.6-4)をご覧ください。

履歴



ステータスの着信履歴、ショートメッセージの着信履歴(P.6-4)、音声着信履歴(P.6-4)を確認できます。

◇ステータス着歴

ステータスを1件以上受信したとき、相手局の個別番号、呼出種別、受信時刻、ステータスの内容を表示します。






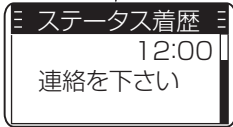
※ステータスは、30件まで記憶できます。

30件を超えると、古い着信履歴から消去されます。

※電源を切ると、着信履歴が消去されます。

※ステータスを受信したとき、GPSユニット(別売品:UX-249)を接続していなかった場合、または接続していてもGPS衛星からの信号を受信(測位)できなかった場合は、受信時刻は表示されません。

【表示のしかた】

1. ステータス着歴一覧画面で、**[▲]/[▼]**スイッチを押して表示する着信履歴を選択し、**[決定]**スイッチを押します。
※呼出種別に関わらず、ステータス着歴一覧画面には相手局の個別番号が表示されます。
※未読のステータスには「」、既読のステータスには「」を表示します。
2. 相手局の個別番号、呼出種別、受信時刻、ステータスの内容が表示されます。
•**[▲]/[▼]**スイッチを押して、表示をスクロールします。



6 メニュー画面について

■ 項目について

履歴(つづき)

◇ショートメッセージ着歴

ショートメッセージを1件以上受信したとき、相手局の個別番号、呼出種別、受信時刻、ショートメッセージの内容を表示します。

※ショートメッセージは、30件まで記憶できます。

30件を超えると、古い着信履歴から消去されます。

※電源を切ると、着信履歴が消去されます。

※ショートメッセージを受信したとき、GPSユニット(別売品:UX-249)を接続していなかった場合、または接続していてもGPS衛星からの信号を受信(測位)できなかった場合は、受信時刻は表示されません。

【表示のしかた】

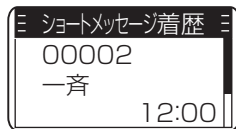
1. ショートメッセージ着歴一覧画面で、[▲]/[▼]スイッチを押して表示する着信履歴を選択し、[決定]スイッチを押します。



※呼出種別に関わらず、ショートメッセージ着歴一覧画面には相手局の個別番号が表示されます。

※未読のショートメッセージには[☐]、既読のショートメッセージには[☑]を表示します。

2. 相手局の個別番号、呼出種別、受信時刻、ショートメッセージの内容が表示されます。



•[▲]/[▼]スイッチを押して、表示をスクロールします。



◇音声着歴

通信方式が「B54」に設定されている無線機から音声通信を1件以上受信したとき、相手局の個別番号、呼出種別、受信時刻を表示します。

※音声着歴は、20件まで記憶できます。

20件を超えると、古い着信履歴から消去されます。

※電源を切っても、着信履歴は消去されません。

※通信方式が「T102」に設定されている無線機から受信したとき、およびアナログ通信で使用する通話チャンネルで受信したときは、着信履歴を記憶しません。

※音声を受信したとき、GPSユニット(別売品:UX-249)を接続していなかった場合、または接続していてもGPS衛星からの信号を受信(測位)できなかった場合は、受信時刻は表示されません。

【表示のしかた】

1. 音声着歴一覧画面で、[▲]/[▼]スイッチを押して表示する着信履歴を選択し、[決定]スイッチを押します。



※呼出種別に関わらず、音声着歴一覧画面には相手局の個別番号が表示されます。

2. 相手局の個別番号、呼出種別、受信時刻が表示されます。



【音声着歴を利用して、呼び出しをするには】

相手局の個別番号、呼出種別、受信時刻を表示した状態で[PTT](送信)スイッチを押すと、表示している相手局に音声を送信できます。

※アナログ通信で使用する通話チャンネルを選択して音声着歴を表示した場合は、音声着歴を利用して呼び出しはできません。

6 メニュー画面について

■ 項目について(つづき)

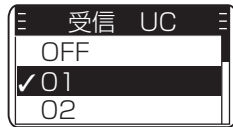
ユーザーコード



選択した通話チャンネルのユーザーコードを一時的に変更します。

◇受信 UC

選択した通話チャンネルの受信ユーザーコード(UC)を一時的に変更します。



- 選択範囲:OFF、01～63
- ※使用できるユーザーコードの設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ※通話チャンネルを変更するか、電源を切ると、変更前の設定に戻ります。

◇送信 UC

選択した通話チャンネルの送信ユーザーコードを一時的に変更します。



- 選択範囲:OFF、01～63
- ※使用できるユーザーコードの設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ※通話チャンネルを変更するか、電源を切ると、変更前の設定に戻ります。

◇送受信UC

選択した通話チャンネルの受信ユーザーコードと送信ユーザーコードを一時的に変更します。



- 選択範囲:OFF、01～63
- ※使用できるユーザーコードの設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ※通話チャンネルを変更するか、電源を切ると、変更前の設定に戻ります。
- ※送信と受信で異なるユーザーコードを設定している場合は、受信ユーザーコードが表示されます。

秘話



秘話機能を使用すると、ほかの相手局に通話内容が傍受されるのを防止できます。




選択した通話チャンネルの鍵番号を一時的に変更します。

- 選択範囲:OFF、01～63
- ※使用できる鍵番号の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ※通話チャンネルを変更するか、電源を切ると、変更前の設定に戻ります。
- ※選択した通話チャンネルに設定されている周波数チャンネル、ユーザーコード、鍵番号が一致した相手局と通話できます。
- ※機密を要する重要な通話にご使用になることは、おすすめできません。また、無線機間の通話は、電波を使用している関係上、第三者による盗聴を完全に阻止できませんので、ご注意ください。

送信出力



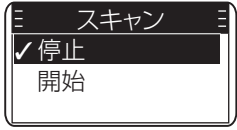
選択されている通話チャンネルの送信出力を一時的に変更します。

- LOW :ローパワーに設定する
※が点灯します。
- HIGH :ハイパワーに設定する
※が点灯します。
- ※通話チャンネルを変更するか、電源を切ると、変更前の設定に戻ります。
- ※選択した通話チャンネルが受信専用の場合は、が点灯し、送信出力の切替はできません。

6 メニュー画面について

■ 項目について(つづき)

スキャン



スキャン機能を使用すると、周波数チャンネルを自動で切り替えて、使用中の周波数チャンネルを探し出せます。スキャン機能を開始/停止します。

- 停止 :スキャンを停止する
- 開始 :スキャンを開始する

※設定が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※通話チャンネルを変更するか、電源を切ると、スキャンを解除します。

◎スキャン中は、「Z」が点灯します。

◎着信したときは、スキャンを一時停止し、設定にしたがって再開します。

◎スキャン中に[PTT](送信)スイッチを押した場合、通話チャンネルに設定されている周波数チャンネルで送信します。

◎スキャン中は、選択呼び出しや緊急呼び出しを正しく受信できないことがあります。

マイクゲイン

(初期設定値:OdB)



マイクの感度を設定します。(単位:dB)

- 選択範囲: -15(低)~0(中)~9(高) 3dB刻み

※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。

※設定値を大きくすると比較的小さな声でも通信相手に聞こえやすくなりますが、まわりの音も聞こえやすくなります。

表示設定

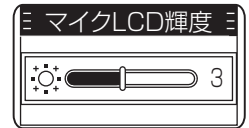


表示部と各スイッチの照明の明るさを設定します。

◇マイクLCD輝度

(初期設定値:3)

コマンドマイクの表示部と各スイッチの照明の明るさを設定します。



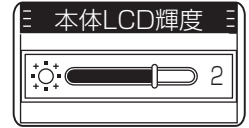
- 選択範囲: 1(暗)~7(明)

※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。

◇本体LCD輝度

(初期設定値:2)

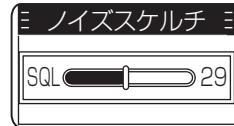
無線機本体の表示部と各スイッチの照明の明るさを設定します。



- 選択範囲: 1(暗)~3(明)

※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。

ノイズスケルチ



受信する相手局の信号レベルの強弱に応じて、ノイズスケルチレベルを設定します。

- 選択範囲: 0(オープン)、1(浅い)~64(深い)

※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。

※設定値が小さい(浅い)ときは弱い信号でも受信できますが、設定値が大きい(深い)ときは強い信号だけを受信します。

ご参考

ノイズスケルチレベルは、検出電圧のわずかな違いが表示に反映されるため、同じ機種の場合でも個体差により出荷時の値が異なります。

7 そのほかの機能について

■ モニター機能

モニター機能は、次のような場合に使用します。

◎アナログ通信で使用する通話チャンネルを選択し、受信音がない状態で、「ザー」という音を聞きながら音量を調整するとき

◎デジタル通信で使用する通話チャンネルを選択し、ユーザーコード、個別番号、グループ番号が異なる他局の通話を聞くとき

※秘話機能を使用している他局の信号を受信した場合は、秘話処理された電子音だけが聞こえます。

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

【操作のしかた】

モニター機能を設定したスイッチを押します。

押ししているあいだ動作するか、押しごとに動作を切り替えるかは、設定によって異なります。

■ キーロック機能

不用意にコマンドマイクのスイッチ、無線機のスイッチやツマミを操作しても、設定や表示が変わらないようにします。

【操作のしかた】

「ピピッ」と鳴るまで、**【機能/ON/OFF】**スイッチを長く(約1秒)押します。

・「キーロック」が表示されます。

※同じ操作をすると、解除できます。

【キーロック中にできる操作】

◎キーロック機能の解除

◎送信/受信

◎モニター機能の「ON」/「OFF」

◎緊急呼び出し

◎設定モードの移行

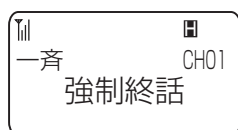
◎電源の「入」/「切」と音量調整*

★設定モードの「キーロック時動作」(P.8-2)を「全キーロック」に設定した場合、キーロック中に音量調整はできません。

■ 強制終話機能

着信中に**【P1】**スイッチを長く(約1秒)押すと、通話を強制的に終了します。

※強制終話した場合、**【送・受】**ランプが緑色に点灯したまま、右の画面を表示します。



■ T102方式受信機能

通信方式が「B54」に設定されている無線機で、通信方式が「T102」に設定されている無線機から受信できます。

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ スキャン機能

スキャン機能を使用すると、周波数チャンネルを自動で切り替えて、使用中の周波数チャンネルを探し出せます。メニュー画面から、開始/停止します。(P.6-6)

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 呼び出し音機能

呼び出しを受けたとき、着信をビープ音、またはメロディー音で通知する機能です。

※呼び出し音の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※相手局からユーザーコードによる呼び出し、一斉呼び出し、またはグループ呼び出しを受けたときは、鳴りません。

■ 呼び出しメロディー機能

呼び出し音機能を設定したときの呼び出し音をメロディー音(9種類)に設定できます。

※メロディー音の変更は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 最小音量設定機能

音量の最小値を制限することで、不用意にコマンドマイクの**【◀】**スイッチや無線機の**ツマミ**を操作したとき、受信音やビープ音が出なくなるのを防止できます。

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ マイクハンガー機能

マイクハンガー機能を使用すると、マイクロホンにマイクハンガーにかけたときに、下記のいずれかの動作をします。

◎マイクロホンをマイクハンガーにかけているあいだ、スキャンする

◎マイクロホンをマイクハンガーにかけているあいだ、スケルチを閉じる

◎マイクロホンをハンガーにかけた状態で調整した音量と、はずした状態で調整した音量がそれぞれ設定される

◎マイクロホンをハンガーにかけると、強制的に終話する

※マイクハンガー機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ご注意

マイクハンガー機能を使用する場合、マイクハンガーをアース(車体の金属部分)に接地してください。

7 そのほかの機能について

■ GPSデータ通信

ARIB STD-B54方式で使用できる通信です。

GPSユニット(別売品:UX-249)を接続しているとき、位置情報と自局番号を送信できます。

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※通信方式が「T102」に設定されている無線機は、GPSデータ通信はできません。

※選択している通話チャンネルに設定されている周波数チャンネルとユーザーコードが異なる相手へ、GPSデータを送信できません。(P.3-1)

※送信できる位置情報は緯度、経度、高度です。

※送信中は[送・受]ランプが赤色に点灯し、他局からGPSデータを受信中は、[送・受]ランプが緑色に点灯します。

※無線機からは、位置情報を確認できません。

位置情報を受信すると、無線機に接続されたデータ端末装置などの機器に受信した位置情報を出力します

■ ステータス通信

ARIB STD-B54方式で使用できる通信です。

ステータスを送信します。

ステータスには、全角12文字(半角24文字)以内の内容が、あらかじめ登録されています。

◎ステータスの送信については、6-2ページをご覧ください。

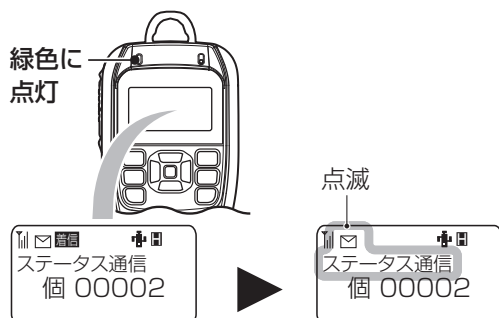
◎送信するステータスは、最大207件登録できます。

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※通信方式が「T102」に設定されている無線機は、ステータスを送受信できません。

※選択している通話チャンネルに設定されている周波数チャンネルとユーザーコードが異なる相手へ、ステータスを送信できません。(P.3-1)

【受信中の表示】



◎ステータスを受信してから通常画面になるまでのあいだに[決定]スイッチを押すと、受信したステータスが既読になり、内容を確認できます。

◎受信したステータスの確認はメニュー画面でもできます。(P.6-3)

■ ショートメッセージ通信

ARIB STD-B54方式で使用できる通信です。

あらかじめ登録された全角50文字(半角100文字)以内のショートメッセージを送信します。

◎ショートメッセージの送信については、6-3ページをご覧ください。

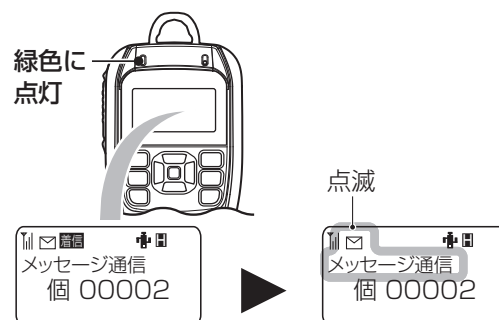
◎送信するショートメッセージは、最大10件登録できます。

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※通信方式が「T102」に設定されている無線機は、ショートメッセージを送受信できません。

※選択している通話チャンネルに設定されている周波数チャンネルとユーザーコードが異なる相手へ、ショートメッセージを送信できません。(P.3-1)

【受信中の表示】



◎ショートメッセージを受信してから通常画面になるまでのあいだに[決定]スイッチを押すと、受信したショートメッセージが既読になり、内容を確認できます。

◎受信したショートメッセージの確認はメニュー画面でもできます。(P.6-4)

7 そのほかの機能について

■ ベアラモード通信

ARIB STD-B54方式で使用できる通信です。

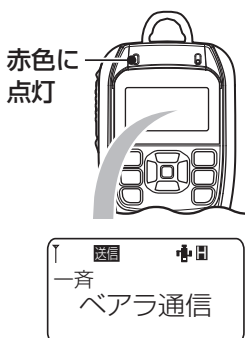
データ端末装置などの機器を外部機器接続ケーブル(D-sub 9ピンコネクタ)に接続することで、テキストなどの非音声データの伝達ができます。

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

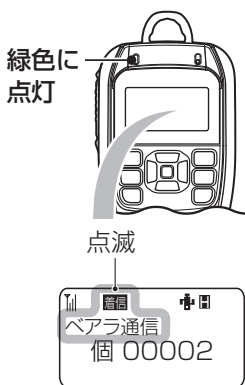
※通信方式が「T102」に設定されている無線機は、非音声データを送受信できません。

※選択している通話チャンネルに設定されている周波数チャンネルとユーザーコードが異なる相手へ、非音声データを送信できません。(P.3-1)

【送信中の表示】



【受信中の表示】



■ ロングデータモード通信

ARIB STD-B54方式で使用できる通信です。

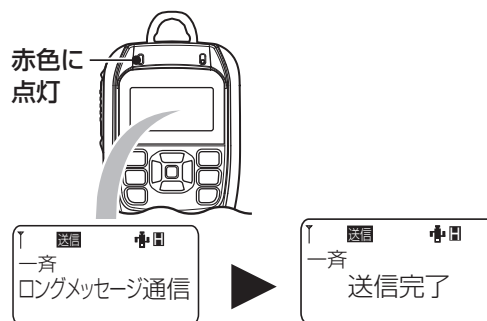
データ端末装置などの機器を外部機器接続ケーブル(D-sub 9ピンコネクタ)に接続することで、ロングメッセージの伝達ができます。

※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

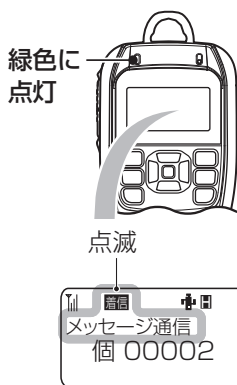
※通信方式が「T102」に設定されている無線機は、ロングメッセージを送受信できません。

※選択している通話チャンネルに設定されている周波数チャンネルとユーザーコードが異なる相手へ、ロングメッセージを送信できません。(P.3-1)

【送信中の表示】



【受信中の表示】



表示される項目は、お買い上げ時の設定によって異なります。

詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 設定項目一覧

下記の項目が表示されます。

設定名	設定項目名	初期値	参照
操作設定	キーロック時動作	音量のみ可	P.8-2
喚起音設定	キー操作音	ON	P.8-2
	送信モニタービーブ	OFF	P.8-2
	終話信号受信音	OFF	P.8-3
表示設定	バックライト動作	常時点灯	P.8-3
	マイクLCDコントラスト	12	P.8-3
	本体LCDコントラスト	12	P.8-3
	文字サイズ	標準	P.8-3
オプション設定	外部SP接続動作	自動	P.8-3

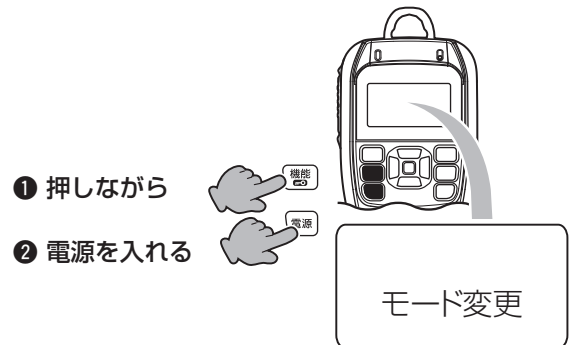
※ 初期値とは、工場出荷時の設定を意味します。

■ 設定モードに移行するには

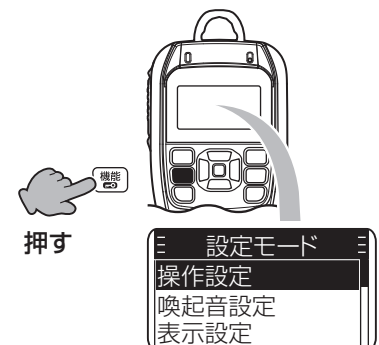
設定モードを解除するまで、送信や受信ができません。

【操作のしかた】

1. 本製品の電源を切ります。
2. 【機能/電源】スイッチを押しながら、【電源】スイッチを押すつづけます。



3. 「モード変更」と表示されて「ピッ」と鳴ったら、すべてのスイッチから手をはなして、1秒以内に【機能/電源】スイッチを短く押します。
 - ビープ音が「ピピッ」と鳴ったあと、「設定モード」と設定項目が表示されていれば、設定モードに移行しています。



8 設定モード

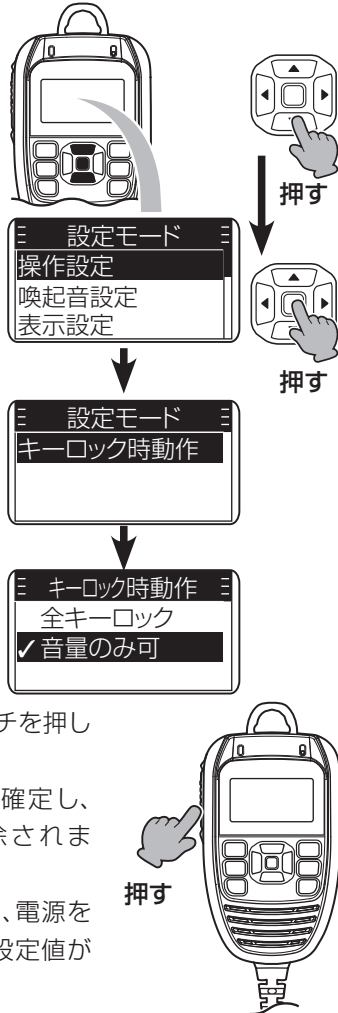
■ 設定のしかた

設定モードに移行後、下記の手順で各機能の設定を変更できます。

【操作のしかた】

1. [▲]/[▼]スイッチを押して、設定したい項目を選択します。
2. [決定]スイッチを押します。
3. 手順1と手順2を繰り返して、設定する項目を選択します。
4. [▲]/[▼]スイッチを押して、設定値を選択します。
5. [決定]スイッチを押します。
6. [PTT] (送信)スイッチを押します。
 - 選択した設定値を確認し、設定モードが解除されます。

※設定値を変更後に、電源を切った場合でも、設定値が確定されます。

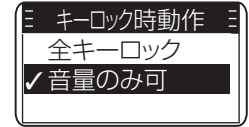


■ 設定項目について

操作設定



◇キーロック時動作 (初期設定値: 音量のみ可)
キーロック機能を「ON」にしたときの音量調整について設定します。



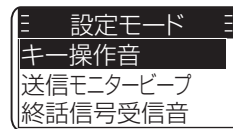
- 全キーロック :【キーロック中にできる操作】を除くすべての操作を無効にする
- 音量のみ可 :キーロック中にできる操作として、音量調整も有効にする

※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。

【キーロック中にできる操作】

- ◎キーロック機能の解除
- ◎送信/受信
- ◎モニター機能の「ON」/「OFF」
- ◎緊急呼び出し
- ◎設定モードの移行
- ◎電源の「入」/「切」

喚起音設定



◇キー操作音 (初期設定値: ON)
スイッチ、および無線機本体のツマミの操作音について設定します。

- OFF :操作音を鳴らさない
- ON :操作音を鳴らす

※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。



◇送信モニタービーブ (初期設定値: OFF)
送信したとき、送信側の無線機が通話できる状態であることを知らせるビーブ音について設定します。



- OFF :ビーブ音を鳴らさない
- ON :ビーブ音を「ピッ」と鳴らす

※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。

8 設定モード

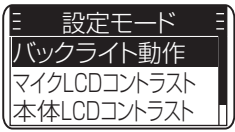
■ 設定項目について

喚起音設定(つづき)

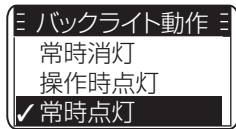
- ◇ 終話信号受信音 (初期設定値: OFF)
相手局が終話したことを通知するビーブ音について設定します。
- OFF : ビーブ音を鳴らさない
 - ON : ビーブ音を「ピッ」と鳴らす
- ※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。



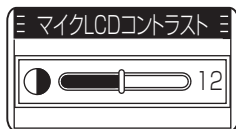
表示設定



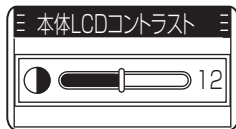
- ◇ バックライト動作 (初期設定値: 常時点灯)
表示部と各スイッチのバックライトの点灯タイミングについて設定します。
- 常時消灯 : 点灯しない
 - 操作時点灯 : 送信以外の操作をすると、照明が約5秒点灯する
 - 常時点灯 : 電源を切るまで消灯しない
- ※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。



- ◇ マイクLCDコントラスト (初期設定値: 12)
コマンドマイクの表示部のコントラスト(濃淡)を設定します。
- 選択範囲: 1(淡)~ 25(濃)
- ※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。



- ◇ 本体LCDコントラスト (初期設定値: 12)
無線機本体の表示部のコントラスト(濃淡)を設定します。
- 選択範囲: 1(淡)~ 25(濃)
- ※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。

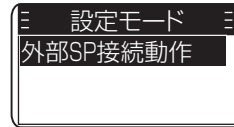


表示設定(つづき)

- ◇ 文字サイズ (初期設定値: 標準)
通話チャンネル表示の文字サイズを設定します。
- 選択範囲: 標準、大
- ※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。
- ※ 「大」に設定したとき表示できる文字数は最大で全角4文字(半角8文字)です。



オプション設定



- ◇ 外部SP接続動作 (初期設定値: 自動)
外部スピーカー接続時、マイクロホンのスピーカー動作を設定します。
- 自動 : 外部スピーカーを接続すると、マイクロホンのスピーカーが無効になる
 - マイクSP+外部SP : 外部スピーカーとマイクロホンのスピーカーが両方有効になる
 - マイクSP : 外部スピーカーを接続しても、無線機に接続したマイクロホンのスピーカーだけが有効になる
- ※ [P1]スイッチを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。



さくいん

記号	さ	ひ
[▲]/[▼]スイッチ…………… 1-1	最小音量設定機能…………… 7-1	表示設定…………… 6-6、8-3
[◀]/[▶]スイッチ…………… 1-1		表示部…………… 1-3
	し	秘話機能…………… 6-5
G	終話信号受信音…………… 8-3	
GPSデータ通信…………… 7-2	受信ユーザーコード…………… 6-5	へ
	[受信]ランプ…………… 1-1	ベアラモード通信…………… 7-3
P	ショートメッセージ着歴…………… 6-4	ほ
[P0]スイッチ…………… 1-1	ショートメッセージ通信…………… 6-3、7-2	本体LCD輝度…………… 6-6
[P1]スイッチ…………… 1-1		本体LCDコントラスト…………… 8-3
[P2]スイッチ…………… 1-1	す	
[P3]スイッチ…………… 1-1	スキャン…………… 6-6、7-1	ま
[PTT](送信)スイッチ…………… 1-1	ステータス着歴…………… 6-3	マイクLCDコントラスト…………… 8-3
[P](プログラム)スイッチ…………… 1-2	ステータス通信…………… 6-2、7-2	マイク感度の調整…………… 6-6
		マイクゲイン…………… 6-6
T	せ	マイクの使いかた…………… 2-4
T102方式受信機能…………… 7-1	設定モード…………… 8-1	マイクハンガー機能…………… 7-1
	設定モードに移行するには…………… 8-1	
い	選択呼び出しによる通話…………… 4-1	め
一斉呼び出し…………… 4-1、6-2	選択呼び出しの種類…………… 4-1	メッセージ通信…………… 6-2
		メニュー画面について…………… 6-1
え	そ	[メニュー/戻る]スイッチ…………… 1-1
エマージェンシー…………… 5-1	操作設定…………… 8-2	
	送受信ユーザーコード…………… 6-5	も
お	[送・受]ランプ…………… 1-1	文字サイズ…………… 8-3
オプション設定…………… 8-3	送信出力…………… 6-5	モニター機能…………… 7-1
音声宛先…………… 6-2	送信モニタービープ…………… 8-2	
音声着歴…………… 6-4	送信ユーザーコード…………… 6-5	ゆ
音量を調整する…………… 2-1	[送信]ランプ…………… 1-1	ユーザーコード…………… 3-1、6-5
		ユーザーコードによるグループ通話の しかた…………… 3-1
か	ち	ユーザーコードによる呼び出し…………… 6-2
外部SP接続動作…………… 8-3	着信中の送信制限機能…………… 2-4	ユーザーコードの設定について…………… 3-1
喚起音設定…………… 8-2		ユーザーコードを変更するには…………… 3-2
	つ	よ
き	通話するときのアドバイス…………… 2-4	呼び出し音機能…………… 7-1
キー操作音…………… 8-2	通話する場所について…………… 2-4	呼出種別を変更するには…………… 4-3
キーロック	通話チャンネルを合わせる…………… 2-2、3-1	呼び出しメロディー機能…………… 7-1
キーロック機能…………… 7-1	通話のしかた…………… 2-1	呼び出しを受ける…………… 2-3、3-1
キーロック時動作…………… 8-2	ツマミ…………… 1-2	呼び出しをする…………… 2-2、3-1
[機能/☐]スイッチ…………… 1-1	て	
強制終話機能…………… 7-1	[電源]スイッチ…………… 1-1	り
緊急呼び出し機能…………… 5-1	電源を入れる…………… 2-1	履歴…………… 6-3
		ろ
く	の	ローパワー…………… 6-5
グループ呼び出し…………… 4-1、6-2	ノイズスケルチ…………… 6-6	ロングデータモード通信…………… 7-3
	は	
け	ハイパワー…………… 6-5	
[決定]スイッチ…………… 1-1	パスワード機能…………… 2-1	
	バックライト動作…………… 8-3	
こ		
個別呼び出し…………… 4-1、6-2		
コントラスト…………… 8-3		

高品質がテーマです。

